

施政方針に対する各党派総括代表質問

3月1日に行われた行政全般にわたる今後1年間の市長の施政方針に対し、3月3日に各会派の代表が総括代表質問を行い、市長の姿勢や考えを質問しました。主な内容は次の通りです。

なお、施政方針の概要は広報ひがしくるめ(3月15日号)に、全文は東久留米市ホームページに掲載されています。

自民クラブ

次の50年へのま ちづくりの礎を

質問 「未来志向の公共施設マネジメント」の具体的な取り組みは。

市長 優先的な検討施設として旧下里小学校と生涯学習センターを、太陽光発電設備設置に合わせ課題解決を進めていく施設としてわくわく健康プラザとスポーツセンターを抽出。未来志向の公共施設の考え方を取りまとめ、これに沿ってハード面のスリム化やソフト面の効率化、経費削減などの観点から検討を行う。

質問 「書かない窓口」の具体は。

市長 窓口業務支援システムを導入し、住民異動に伴う届出書を職員の聞き取りと入力により作成、来庁者の確認と署名により手続きが完了するもの。利便性向上と事務効率化を図る。

質問 子どもたちからの声を聴くことの効果と、来年度の取り組みは。

市長 小・中学生視点で見る市の姿がよく伝わり、自分たちのまちをしっかりと考えていることに感銘を受けた。来年度も児童・生徒との交流の場や高校生を聴く機会創出に向け、交付金を活用した取り組みの

公明党

富田市長二年目の市 政運営に期待する!

質問 「書かない窓口」導入による職員体制の変更や、削減時間の見込みは。

市長 証明書発行等の自動化で業務効率化と待ち時間削減を見込んでおり、現在委託の作業等が一部不要となる。先進自治体では、証明書発行は1件当たり2分35秒、異動処理は1件当たり18分36秒削減している。

質問 富士見テラス再整備に対する要望書の署名1万4396筆について、この重みをどう受け止め、どう

市長 富士見テラス機能の再建も含め、都との協議に鋭意取り組む。今後、法令遵守を徹底し、公共施設に関する文書保存の在り方の見直しを検討していく。

質問 中学校給食における温かい献立の提供について、①今後のスケジュールは、②財政負担は。

市長 ①令和5年度は工程確認・構築や調理場の設計等を受託事業者と調整し、7年度の夏休み明けの導入を目指したいとのことである。②調理場改修等を含めた費用は、より検討が深まった段階でお示しする。

質問 中学校体育館のエアコン設置に関し、公明党の提案によりリース方式で実現できたが、財政効果と小学校12校への設置方式は。

日本共産党

すべての公立保育園の 存続を!

質問 市民の暮らしの現状について市長の認識は。

市長 依然として厳しい財政状況においても、命と健康、安全と安心の堅守を第一に、さまざまな支援策を講じてきた。今後も市民生活の向上に努めていく。

質問 都に新型コロナウイルス感染症の診療を行える医療機関を増やすための支援を求めるときと考えるが。

市長 医療機関の体制は都において充実を図っていることと認識している。今後も国や都の動向に注視していく。

質問 公立保育園に関し、実施計画を市民参加で見直し、全ての公立園を存続させるべきと考える。また、次の対象園を選ぶべきではない。見解を伺う。

市長 公設公営保育園への民間活力導入について他自治体の事例も参考に検討を進めており、令和5年中に再度実施計画を改訂し、民間活力導入の手法と対象園を示していく。

質問 給食は、健全な育成の意味からも極めて重要。就学援助を受けている生徒に限っても、スクールランチを喫食している生徒の割合は約3分の2にとどまっている。食育の観点からも約54%の生徒しか喫食していないスクールランチは十分とは言えない。中学生全員を対象とした給食を速やかに実現すべきと考えるが、見解を伺う。

市長 現行の弁当併用スタイルランチ方式を基本としつつ、教育委員会での手法の調査・研究、複数案の比較考察の結果、実現可能性の高い個別容器での提供方式を前提に、引き続き取り組みたいことである。

未来政策フォーラム

東久留米市の次の 50年を見据えて

質問 ボール遊びのできる公園について、また南町公園以外は新規に整備されていない。今後の見込みは。

市長 東京都等の関係機関との協議も進めている。今後は12の各小学校区域に1カ所以上の公園等を整備すべく検討していく。

質問 タウンミーティングの開催規模やテーマの検討の開催規模やテーマの検討状況は。

市長 無作為に抽出した市民を対象に、市民プラザ、東部および西部地域センターの3カ所での開催とし、公共施設マネジメントをテーマに考えている。

質問 医療的ケア児について、学校においては訪問看護ステーションとも連携するとしているが、具体的に可能と考えていることは。

市長 今年度策定の受け入れ方針を基に、教育委員会でガイドラインを策定。必要な時間帯に看護師を派遣してもらい、校内で医療行為を行うと聞いている。

質問 デマンド型交通の今後の方向性は、いつまでに検討を終了するのか。

市長 令和7年3月までが運行期間となっている。5

市民自治フォーラム

市民参画でまちづくりの 推進を

質問 施政方針からは「みんなが主役のまちづくり」について、市長の思いが伝わってこなかった。御意見を聞くだけでなく、市民協働、市民参画でまちづくりを進めるべきと考えるが、見解を伺う。

市長 市民の声を伺いながら取り組む。市民協働については、市民が主体的に地域の課題解決に関われるよう積極的な情報発信で意識啓発に努めるとともに、関係団体との連携強化を図る。

質問 都の「子供食堂推進事業」では、配食・宅食や子ども食堂の運営にも補助が出ている。市も「子供の食の確保事業」の補助金を子ども食堂の運営に活用すべき。見解を伺う。

市長 「子供の食の確保事業」は、令和3・4年度と実施しており、令和5年度も交付金を活用し、民間団体が実施する子ども食堂への支援を継続していく。

質問 最後の1年を迎えたしんかわ保育園について、市長が全く触れなかったことは極めて残念である。この1年、全力でしんかわ保育園を支えるべきと考える。どう取り組むか伺う。

市長 在園児が卒園するまでの間、認可保育所として適切に管理運営していく。地域や他園との交流事業は、状況を注視し進めたい。



施政方針演説をする富田市長